

7月11日に千秋公園大手門の堀遊歩道が開通しました。

あきた 市議会だより

No.195

令和6年
8月16日

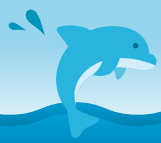
秋田市議会ではLINEによる情報発信をしています。
LINEの「友だち追加」から「ID検索 (@akitacity_gikai)」
または右のコードから登録できます。



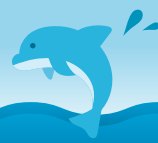
7月7日に自然科学学習館
開館20周年を記念して開催された
リアル恐竜ライブショーの様子

6月定例会の概要	P 2～3
6月定例会の議決結果	P 3～4
一般質問	P 5～9
令和5年度分政務活動費科目別収支状況	P 9
予算決算委員会各分科会の審査から	P 10
9月定例会のお知らせ（予定）	P 10





6月定例会の概要



6月6日 ~ 7月1日

6月定例会では、秋田市児童福祉施設の設備および運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する件などの条例案7件、予算案3件および単行案14件を全て可決・承認しました。また、陳情2件を採択したほか、議員提案による意見書案1件を可決しました。

予 算

国の総合経済対策関連事業

物価高騰支援給付金 給付事業

国の総合経済対策における低所得者支援および定額減税を補足するための給付を行います。

① 定額減税しきれないと見込まれる方への給付（調整給付）
24億8千770万7千円

② 新たに住民税非課税等となる世帯への給付
5億2千106万5千円

※10ページに関連記事掲載

消防通信指令システム 更新事業

運用開始から10年が経過する消防指令システムおよび消防救急デジタル無線の更新工事を実施します。

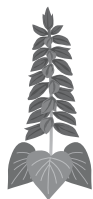
6年度予算額

6億2千579万4千円

（参考）

継続費総額

19億848万4千円
（6年度から8年度まで）



予防接種事業

新型コロナウイルスについて、65歳以上の市民等を対象とした定期接種を実施するとともに、ワクチン接種により健康被害を受けた方に給付金を支給します。

5億9千271万8千円

小児等インフルエンザ ワクチン接種費助成事業

インフルエンザの流行期に備え、まん延防止や、発病および重症化の予防を図るため、ワクチンの接種費用を助成します。

対象 生後6月以上13歳未満の方および妊婦

対象期間 6年10月1日から7年2月28日までに受けた接種

助成額

1回1千円
3千780万2千円



日新小学校増改築等事業

増改築中の日新小学校について、インフラスライド条項に基づく工事請負費の増へ対応するほか、追加工事に伴う工期延長により、工事請負費が増額となったため、継続費を増額します。

6年度補正額

1億1千402万6千円

（参考）

継続費総額

39億9千894万2千円
（4年度から6年度まで）



増改築工事中の日新小学校

戸籍システム等改修経費

戸籍法の一部改正に伴い、戸籍に記載する氏名の振り仮名の通知に係るデータ作成等を行うため、システムを改修します。

385万円

河川改修事業

普通河川古川について、経年劣化により腐食した矢板護岸の改修を行います。

4千750万円

※10ページに関連記事掲載

地方卸売市場再整備事業

新花き棟の設計および市場敷地内にある民間施設の移転に伴う補償費用の算定に係る調査を実施するとともに、再整備工事に当たって周辺建物への影響を把握するための調査を実施します。

5千750万3千円

※10ページに関連記事掲載

エネルギー価格高騰対応 倉庫事業者支援事業

倉庫事業者に対し、運営費高騰分の一部を県の物流事業者エネルギー価格高騰緊急支援事業による補助金に上乗せして補助します。

対象 国に登録している倉庫を市内に有し、倉庫業法に定める倉庫業を営営する事業者

補助単価 倉庫の区分ごとに設定（県事業補助単価の2分の1）

1千539万4千円

条 例

秋田市児童福祉施設の設備
および運営に関する基準を
定める条例等の一部を改正
児童福祉施設の設備及び
運営に関する基準の一部改
正等に伴い、保育所等にお
ける職員の配置基準を改め
るため、改正しました。
施行期日 公布の日から

単行案

リサイクルプラザ受入供給
設備等改修工事請負契約を
締結する件

工事場所 河辺豊成字虚空
蔵大台滝地内
契約金額 5億3千900万円
契約先 三菱重工環境・
化学エンジニアリング株
式会社東北支店
工 期 9年3月26日まで
工事概要 機械設備工事、
電気・計装設備工事



リサイクルプラザ
工場棟の様子

旧秋田市文化会館解体工
事請負契約を締結する件

工事場所 山王七丁目3番
1号ほか

契約金額 9億2千400万円
契約先 林・藤重・中山
建設工事共同企業体

工 期 8年5月29日まで
工事概要

・本体 SRC造地上5階
地下1階塔屋2階
約1万4千284平方メートル
・駐輪場 S造地上1階
約62平方メートル
・休憩所 S造地上1階
約12平方メートル



旧秋田市文化会館

厨房機器を買い入れる件

納品場所 秋田市立日新小
学校1階給食棟
（新屋栗田町24番1号）
契約金額 6千479万円
契約先 株式会社中西製
作所秋田営業所

概 納 期 7年3月31日まで
要 要 ガス煮炊釜ほか

43件

6月定例会の議決結果

◆全員一致で可決・承認した議案

全員一致で可決等した議案は件名のみを掲載しています。

件 名	
市長提出	条例案
	秋田市職員給与条例の一部を改正する件
	秋田市市税条例の一部を改正する件
	秋田市個人番号の利用に関する条例の一部を改正する件
	秋田市指定介護予防支援等の事業の人員および運営ならびに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する件
	秋田市地域包括支援センターにおける包括的支援事業の実施に係る人員等に関する基準を定める条例の一部を改正する件
	秋田市児童福祉施設の設備および運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する件
	秋田市廃棄物の処理および再利用に関する条例の一部を改正する件
	単行案（先議分）
	令和6年度秋田市一般会計補正予算（第1号）に関する専決処分について承認を求める件
	単行案
	秋田市市税条例の一部を改正する専決処分について承認を求める件
	秋田市過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する専決処分について承認を求める件
	秋田市国民健康保険税条例の一部を改正する専決処分について承認を求める件
	市道路線を廃止する件
	市道路線を認定する件
	旧秋田市文化会館解体工事請負契約を締結する件
	リサイクルプラザ受入供給設備等改修工事請負契約を締結する件
	背面ロッカーほかを買い入れる件
	厨房機器を買い入れる件

←4ページに続きます。

◆全員一致で可決した議案と採択した陳情

全員一致で可決等した議案等は件名のみを掲載しています。

件 名		
市長提出	単 行 案	小型動力ポンプ積載車を買い入れる件
		消防ポンプ自動車を買い入れる件
		救急自動車を買い入れる件（2件）
	予 算 案 （先 議 分）	令和6年度秋田市一般会計補正予算（第2号）の件
	予 算 案	令和6年度秋田市一般会計補正予算（第3号）の件
令和6年度秋田市公設地方卸売市場会計補正予算（第1号）の件		
陳 情		秋田市卸売市場再整備事業の地元企業への発注について（1項、3項） ※2項は、次の「賛否が分かれた議案等」に掲載しています。

◆賛否が分かれた議案等

賛否が分かれた議案等は各議員の表決状況を掲載しています。

件 名		議決 結果	秋水会						フロンティア秋田						自民党					公明党			そうせいと維新				共産党		市民ク		議長	
			荻原貴幸	細川信二	川口雅二	見上万里子	佐藤宏悦	伊藤一正	渡辺正宏	小木田喜美雄	後藤良	船橋純	藤田信	藤枝隆博	工藤新一	佐藤哲治	倉田芳浩	小林一夫	飯牟礼克年	工藤潤平	安井正彦	伊藤巧一	熊谷重隆	小野寺誠	佐藤佳人	牧野正守	石塚秀博	藤井格夫	菊地尚利	若松健		小松順子
議員提出	地方財政の充実・強化に関する意見書提出の件	可決	○						○						○					○			○				×	○		議		
請願	健康保険証廃止の中止等を求めることに関する意見書の提出について	不採択	×						○	○	×	○	○	○	○	○	○	×					×			×				○	×	議
陳情	秋田市が障害者加算を誤って過大に支給した生活保護費の返還を求めないことについて	不採択	×						○	×	×	○	○	○	○	○	○	×					×			×				○	×	議
	イスラエルによるガザ地区の攻撃中止と即時停戦に関する意見書の提出について	不採択	×						×	○	×	○	○	○	○	○	○	×					×			○				○	×	議
	地方財政の充実・強化に関する意見書の提出について	採択	○						○						○					○			○				×	○		議		
	秋田市卸売市場再整備事業の地元企業への発注について（2項）	採択	○						○						○					○			○				○	○	議			
	家庭ごみ処理手数料の見直しについて	不採択	×						○	×	○	○	○	○	×	○	×	×					×			×				○	×	議

- ★1 賛否は、賛成（○）と反対（×）で掲載しています。
○：賛成【可決・承認・認定・同意・採択】、×：反対【否決・不承認・不認定・不同意・不採択】、議：議長
- ★2 略記している会派の名称
「公明党」は公明党秋田市議会、「共産党」は日本共産党秋田市議会議員団、「市民ク」は市民クラブ

ホームページで議案書を公開しています。

6月定例会提出議案 ⇒



意見書を提出しました

秋田市議会の意見として、次の意見書を、国会および関係行政庁に提出しました。
○地方財政の充実・強化に関する意見書

■請願・陳情の提出について

請願書・陳情書は趣旨を具体的に記載し、提出年月日、提出者（代表者）の住所を記載、氏名については署名または記名押印の上、定例会の招集日の3日前（市の休日は算入しません）の午後5時までに議長宛てに提出してください。
ご不明な点は、議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局議事課 電話 018（888）5784

一般質問

議員の質問項目や本会議の録画映像をホームページからご覧いただけます。

議員の質問項目 (PDF) ⇒



本会議の録画映像 ⇒



新スタジアム整備
浸水被害対策

フロンティア秋田
小林 一夫
こばやし かずお

◇外旭川地区のまちづくり◇
第8次秋田市行政改革大綱◇
包括外部監査◇デジタル化の
推進◇昨年の大雨災害への対
応に係る検証結果と今後の取
組◇熊対策等◇第4次秋田市
教育ビジョン等

問 新スタジアム整備につ
いて、Jリーグから指摘さ
れた点は何ですか。また、
新スタジアム整備を外旭川
地区のまちづくり事業から
切り離す可能性と、八橋地
区に建設する可能性はある
のですか。

答 Jリーグからは、整備
スケジュールのさらなる前
倒しができないかなどの意
見をいただいています。こ
のため、新スタジアムにつ
いては、モデル地区におけ
る段階的な整備や、外旭川
地区以外での整備について
も、今後検討が必要になる
と認識しており、八橋運動
公園も一つの選択肢とし
て、あらゆる可能性を排除
せずに検討していきたいと
考えています。

問 外水氾濫および内水氾
濫への対策について、令和
5年の大雨災害への対応に
係る検証結果と今後の取
組みはどうですか。

答 昨年のような大規模な
浸水被害を軽減するため、
国や県などと設立した協議
会において、5年11月に水
災害対策プロジェクトを策
定しています。同プロジェ
クトには、雨水幹線の整備
などのハード対策と、内水
浸水想定区域図の作成など
のソフト対策を盛り込んで
おり、現在、計画的に進め
ているところです。さらに、
6年4月には、県と策定し
た太平洋内水被害等軽減対
策計画が、全国で初めて、
国土交通省において登録さ
れ、内水被害の軽減に向け
た対策が加速することとな
りました。引き続き、関係
機関と連携し、着実に治水
対策事業を推進していきま
す。



新スタジアム整備
外旭川地区まちづくり

自民党
飯牟礼克年
いいむれかつとし

◇外旭川地区まちづくり及び
多核集約型コンパクトシテ
ィ◇インバウンド対応の強化◇
中心市街地活性化◇行政サー
ビス◇子育て世帯・若者支援
◇防災◇若者によるにぎわい
創出と担い手確保に向けた官
学連携◇ひきこもり対策

問 新スタジアムの整備手
法などを官民で再検討した
上で八橋地区を候補地と
し、卸売市場再整備により
生じる余剰地は、物流拠点
などにすべきではありませんか。

答 新スタジアムは、現時
点で卸売市場余剰地に整備
することとしています。また、
Jリーグが求めるスケ
ジュールの前倒しに向けた
選択肢の一つとして、八橋
運動公園を含めた他の場所
での整備の可能性も排除せ
ず、幅広く検討していきま
いと考えています。なお、
同余剰地の活用策について
は、今後、必要に応じて検
討していきます。

問 外旭川地区まちづくり
基本計画を、今後どう見直
していくのですか。また、
本市が目指す多核集約型コ
ンパクトシティに向け、中
心市街地等の整備を強化す
べきではありませんか。

答 同地区まちづくりは、
「人口減少下にあっても持
続可能な社会基盤の構築」
「交流人口の拡大による新
しい活力や魅力づくり」の
2つの目的と、同計画で示
した官民連携によるモデル
地区整備の方向性を踏まえ
た深掘りや見直しを行うこ
ととしています。また、こ
れまでも中心市街地等にお
ける官民一体の取り組みを
行っており、地価上昇等の
成果が表れています。こう
した多核集約型コンパクト
シティの考え方を基本とし
つつ、同地区のまちづくり
においては、引き続き、将
来を見据えた本市のまちづ
くりに貢献できるモデル地
区となるよう、検討してい
きます。

■本会議を生中継しています

本会議は、秋田ケーブルテレビ（デジタル121ch）およびホームページの動画配信により、全日程を生中継してい
ます。開始時間は、午前10時を予定していますが、都合により遅れることもありますので、ご了承ください。

9月定例会の本会議は、9月2日、11日、12日、13日、27日、10月8日に開催予定です。

本会議での質問者順に、質問項目および主な質問と答弁要旨を掲載しています。
掲載する項目と質問は、質問者自身が選定しています。

一般質問



水害対策
人口減少対策

◇市長の政治姿勢◇水害対策
◇行政のデジタル化◇グリー
ントランスフォーメーション
(GX)の促進◇人口減少対
策等◇中心市街地活性化

問 本市は、国土交通省の令和6年度ワンコイン浸水センサ実証実験に参加していますが、新たにセンサを設置する場合、どの地区に設置するのですか。また、同実証実験で得られた成果をどのように活用していくのですか。

答 本市は、同実証実験の新規参加自治体に採択されたことから、同浸水センサを5年7月豪雨で浸水被害のあった地区など、市内20カ所に試験的に設置する予定です。今後は、同実証実験の成果を踏まえ、排水ポンプ設置などの災害対応のほか、迅速な市民の避難行動の参考としてもらうよう、浸水状況の情報発信などに活用したいと考えています。

秋水会
萩原 貴幸
おぎわら たかゆき

問 若年女性の地元定着・回帰における本市の現状をどう捉えていますか。また、今後どのような対策を講じていくのですか。

答 本市の人口動向は、若い世代の転出増加が全体の超過数を引き上げている状況です。若年女性の減少は、子どもの減少に直結し、まちの活力低下につながる恐れがあると捉えています。本市ではこれまで、さまざまな支援策に取り組んできましたが、6年度は、ライフステージに応じた支援策を整理し、若い世代のニーズとの整合を検証し、より効果的な支援策の在り方を検討しようとしています。若い世代が県外に出た場合でも、結婚等を機に、本市で生活したいと思えるような魅力あるまちづくりや、若い世代が住み続けたと思う環境整備を進めるため、全庁一丸となって対策を講じていきたいと考えています。



万博における本市のPR
子どもの事故対策

◇市長の政治姿勢◇外旭川地区のまちづくり◇新スタジオ整備等◇子どもたちの笑顔が輝く秋田市へ◇公共交通等◇災害対策・危機管理◇まちづくりと地域の活性化◇安全安心な暮らしに向けて◇市議会への関心を高める取組

問 万博首長連合に加盟する考えはありませんか。また、市長は万博反対の立場なのです。さらに、加盟している横手市が大阪・関西万博において、かまぐらの展示を行います。本市においては、万博というPRの好機を生かす取り組みは行わないのですか。

答 令和6年6月、東北絆まつり実行委員会において、7年度の大阪・関西万博への出展が正式に決定し、本市の竿燈まつりについて、国内外に向けた大きなPRの機会を得ることができたと考えています。本市としては、同連合への加盟は考えていませんが、加盟の要否にかかわらず、

そうせいと維新
若松 尚利
わかまつ なおとし

万博を応援する姿勢に変わりはないものです。

問 事故に最も遭いやすいとされる「魔の7歳」対策にどのように取り組んでいますか。また、通学用ヘルメットの無償配布など、他自治体において子どもの事故対策を行っています。同様の取り組みを行う考えはありませんか。

答 本市では、小学校1年生が交通事故に遭うことのないよう、入学時に黄色い帽子を無償配布しているほか、基本的な交通ルールを指導しています。また、事故防止対策として、見守り隊による通学路での安全指導などに取り組んでいます。通学の安全確保に向けては、交通安全上の危険箇所を減らすことが課題と捉えており、警察、学校等による合同点検により、今後も安全対策の推進に努めていきます。

■本会議の傍聴について

本会議は、ケーブルテレビで生中継、インターネットで生中継および録画配信しています。傍聴されている方も映る場合がありますのであらかじめご了承ください。

また、議場には、磁気ループシステムを設置しています。補聴器をお使いの場合は“T”モードに切り換えてください。また、専用受信機も用意していますので、希望される方は傍聴受付にお申し出ください。

一般質問

議員の質問項目や本会議の録画映像をホームページからご覧いただけます。

議員の質問項目 (PDF) ⇒



本会議の録画映像 ⇒



古川の既設の護岸整備 終活支援の推進

公明党
秋田市議会
いしづか ひでひろ
石塚 秀博

◇古川流域の総合的な治水対策事業◇防災◇独り暮らしの高齢者への支援◇外国人材の受入れと多文化共生社会の実現

問 県の猿田川樋門の整備の際に、古川の既設の護岸整備も併せて県に実施してもらうことはできないのですか。また、県が実施しない場合、本市は、古川の既設の護岸整備をいつ実施するのですか。

答 県が整備する猿田川樋門は、猿田川合流点から古川上流へ向かって約30メートルの位置に整備することとしています。これにより、猿田川樋門本体と既存護岸への擦り付け区間を合わせ、猿田川合流点から約50メートルまでの区間について、県により護岸等の整備が行われることとなります。さらに、その上流にある東潟敷1号橋までの未整備区間については、令和5年度から本市で設計業務を進めており、引き続き、県

と連携しながら事業推進に取り組んでいきます。

問 本市も積極的に終活支援の仕組みづくりに取り組んでいく必要があると思いますが、終活支援の推進について、どのように考えていますか。

答 終活は、本人の意思を尊重して行われるものと認識しており、市の窓口等に相談があった際は、必要に応じて専門相談窓口等につないでいきます。また、人生の最終段階においては、自らが望む医療等について、周囲の信頼できる人と繰り返し話し合う、人生会議の取り組みが近年重要となっています。本市では、市民一人一人が人生の最終段階を考える機会となるよう、医療等の関係者と連携し、人生会議の普及啓発に引き続き取り組むことで、終活支援を推進していきます。



ファミリーシップ制度の創設 生活保護費の返還

日本共産党
秋田市議会議員団
さとう じゅんこ
佐藤 純子

◇市長の政治姿勢◇ジェンダー平等など◇国民健康保険◇昨年の豪雨災害の検証と課題◇外旭川地区まちづくり◇生活保護世帯の障害者加算の認定誤りによる保護費の返還等◇第9期介護保険事業計画◇地域課題

問 ファミリーシップ制度を創設すべきではありませんか。

答 本市は、性的マイノリティーのかたがたの生きづらさが少しでも解消されるよう、秋田市パートナーシップ宣誓制度を導入しています。これまでも、性的マイノリティーの悩みや要望を伺いながら、関係団体等と情報共有を図っており、同制度の対象を家族に拡大することも含め、引き続き、性的マイノリティーのかたがたの気持ちに寄り添った対応に努めていきます。

問 生活保護世帯の障害者加算の認定誤りによる保護費の返還について、県の指導では、自立更生に資する費用として認められる範囲に、食費や生活費も排除されないとしていることから、全てを自立更生と認めるべきではありませんか。

答 生活保護世帯の自立更生に資する費用については、自立更生のためのやむを得ない用途に充てられたものであるとして、社会通念上容認される程度の額と認められた場合に、返還額から控除することとしています。食費や生活費についても個別の事情を十分に把握した上で、自立更生費用の認定を検討しており、全てを一律的に自立更生費用として認めることはできないものです。



議会の動き

6月3日 各派会長会議
議会運営委員会
6日 6月定例会
(7月1日まで)

7月12日 編集委員会
23日 編集委員会

本会議での質問者順に、質問項目および主な質問と答弁要旨を掲載しています。
掲載する項目と質問は、質問者自身が選定しています。

一般質問



本市職員の給与水準
中心市街地と同様の開業支援

フロンティア秋田
倉田 芳浩

◇再犯防止◇居住支援◇指定
管理者制度◇市職員の処遇改
善◇本市職員におけるハラス
メント◇市立小・中学校での
いじめ問題◇地域の諸課題

問 県は人事委員会勧告に
より、民間企業の給与と同
水準になるよう均衡を図っ
ていますが、市職員の給与
は県職員よりも低水準であ
ることから、県と同程度に
すべきではありませんか。

答 職員の給与について
は、民間給与や国および他
の自治体との均衡を図るこ
ととされており、本市では、
県人事委員会の勧告を基
に、職員団体との交渉、合
意を経て、給与改定を行っ
ています。現在、本市では、
県と同じ給料表を用いてお
り、初任給の格付けについ
ても同額となっています。



問 中心市街地と同様に、
他地区でも開業に係る支援
を行う考えはありません
か。

答 本市では、中心市街地
や商店街等へ商業集積を図
ることを目的に、これらの
地区の空き店舗に出店する
方に対し、開業に係る改装
費等を補助しています。中
心市街地と他地区では、賃
借料の水準に違いがあるた
め、両地区の補助上限額や
補助期間には一定の差を設
けていますが、いずれの地
区も、過去5年間の事業継
続率は約8割となっており、
支援の効果は発揮されて
いると認識しています。
今後、事業者ニーズの把
握に努めるとともに、秋田
市商店街連盟等の協力も得
ながら、制度
の利用促進に
努め、開業す
る方を支援し
ていきます。



河辺地域の産業振興
(仮称)道の駅かわべの設置

自民党
小野寺 誠

◇市長の政治姿勢◇昨年の豪
雨災害への対応状況等◇保育
環境◇ICTを活用した教育
◇老人福祉施設の整備◇選挙
における投票率の向上◇記念
行事等の開催◇道の駅の設置
◇河辺地域における産業振興
等

問 河辺地域における県産
ウイスキー蒸留所や木おけ
工房整備の進捗状況はどう
ですか。

答 本市では、同地域を地
域未来投資促進法の基本計
画における重点促進区域に
設定しており、民間事業者
による地域経済牽引事業を
促進するため、蒸留所や木
おけ工房に係る設備投資な
どへの支援を行うこととし
ています。こうした中、民
間事業者においては、コロ
ナ禍による事業環境の悪化
や資材価格高騰などの影響
により、現在、事業計画を
見直しているところであ
り、引き続き情報交換を図
りながら、動向を確認して
いきます。

問 国道13号の河辺拡幅に
伴い、(仮称)道の駅かわ
べの設置に向けて取り組ん
でいく考えはありません
か。

答 道の駅は、道路利用者
の休憩機能、情報発信機能、
観光レクリエーション施設
や地場産品販売所などの地
域振興機能といった3つの
機能を併せ持つ必要があ
り、安全で快適な交通環境
や地域の振興に寄与するも
のと捉えています。一方で、
道の駅は、設置時の財政負
担のほか、持続可能な施設
運営など、課題も多いこと
から、引き続き、調査研究
してまいります。



拡幅工事中の国道13号

行政情報アプリ「マチイロ」について

スマートフォンやタブレット端末用の広報紙閲覧アプリ「マチイロ」で、あきた市議会だよりを
配信しています。

専用アプリを右のコードからダウンロードしてご利用ください。

※マチイロ公式サイト <https://machihiro.town/>



一般質問

議員の質問項目や本会議の録画映像をホームページからご覧いただけます。

議員の質問項目 (PDF) ⇒



本会議の録画映像 ⇒



答 本事業では、本市の未来を担う創造力豊かな若者が、一流のクリエイターと出会い、短編映画の制作を通じてまちを知り、このまちで夢に挑戦できる体験をしたことで、まちへの誇りと愛着を育むことができました。今後も、本事業のメッセージを受け取った若者の挑戦をまちが一体となって支援しながら発信

問 若者の移住定住に向けた事業を展開する上で、ミライアーフィルムズアキタ（未来創造人材育成・映像プロモーション事業）を実施することにより得たものは何ですか。また、その習得したものを、今後、若者に対するメッセージ性のある施策としていくため、どのように展開・発展させていくようとしているのですか。

◇外旭川地区のまちづくり◇
人口減少対策◇中心市街地◇
市有施設の所管◇次世代の若者に対する施策



若者の移住定住
パーク&ライド施設の整備

秋水会
わたなべ まさひろ
渡辺 正宏

答 当該地に拠点機能を取り入れた施設が整備された場合、中心市街地の回遊性向上などに寄与するものと考えられますが、所有者である県は市街地の公共空間として維持しており、現在は、ポケットパークとして開放し、多様なイベント等に広く貸し出すなど、有効活用されています。こうしたことから、現時点では、施設を整備することは難しいものと考えています。

問 旧産業会館跡地にパーク&ライドの拠点機能を取り入れた施設を整備し、来街者の回遊性を高める考えはありませんか。

し、新たな挑戦を呼び込むサイクルを確立して若者の可能性に寄り添い、長期的な視点で若者の地元定着やふるさと回帰、移住の促進を図っていきます。

政務活動費の使い道を公開しています

政務活動費は、市議会議員が市政に役立つ調査研究をするために必要な経費の一部として、市から市議会の会派に交付されています。金額は、議員一人につき月額10万円で、年度ごとに精算し、残余金がある場合は市に返還されます。

平成30年度から令和5年度までの政務活動費収支報告書と領収書等の写しは、議会事務局で閲覧することができます。

詳しくは、議会事務局総務課（電話 018-888-5782）までお問い合わせください。

ホームページでも公開していますので、右のコードからご覧ください。⇒

令和5年度分 政務活動費科目別収支状況

(金額単位：円)

科 目	秋水会	フロンティア 秋田	自民党	公明党 秋田市議会	そうせいと 維新	日本共産党秋田 市議会議員団	市民クラブ	合 計
所属議員数	8人	8人	8人	4人	4人	2人	2人	36人
収入								
交 付 額	8,000,000	8,000,000	8,000,000	4,000,000	4,000,000	2,000,000	2,000,000	36,000,000
預 金 利 子	35	1	18	1	13	9	13	90
会派繰入金	0	0	0	0	0	0	0	0
収 入 合 計	8,000,035	8,000,001	8,000,018	4,000,001	4,000,013	2,000,009	2,000,013	36,000,090
支出								
研究研修費	2,896,144	573,580	2,262,895	415,089	549,655	21,840	88,475	6,807,678
調査活動費	727,313	1,830,232	712,141	149,147	134,123	103,306	413,946	4,070,208
資料作成費	535,368	740,264	620,001	179,031	810,212	245,647	545,147	3,675,670
資料購入費	206,813	625,887	382,317	70,830	238,813	109,734	40,948	1,675,342
広 報 費	2,321,550	2,876,436	1,294,157	1,930,860	1,991,711	880,055	749,348	12,044,117
広 聴 費	0	0	0	0	0	0	0	0
人 件 費	0	24,000	184,500	0	0	361,800	0	570,300
事 務 所 費	0	0	0	0	0	0	0	0
事 務 費	932,729	1,034,607	460,646	284,171	169,867	52,537	156,740	3,091,297
支 出 合 計	7,619,917	7,705,006	5,916,657	3,029,128	3,894,381	1,774,919	1,994,604	31,934,612
残 余 金	380,118	294,995	2,083,361	970,873	105,632	225,090	5,409	4,065,478

※令和5年5月改選後、会派結成日から令和6年3月31日までの政務活動に係る収支状況です。

予算決算委員会各分科会の審査から

総務分科会

総務部、企画財政部、デジタル化推進本部、会計課、消防本部などの所管事項

委員

物価高騰支援給付金給付事業（調整給付分）について、令和6年分推計所得税額と実際の所得税額に差額が生じる場合は、どのように対応するのですか。また、その対応について、市民にどのように周知するのですか。

企画財政部

推計所得税額

額による調整給付額と実際の所得税額による給付額との差額について、不足する場合には7年度に追加給付を行います。超過した場合には返還を求めないものです。また、このことについては、ホームページおよび広報あきた等で周知していきたいと考えています。



厚生分科会

市民生活部、福祉保健部、保健所、子ども未来部の所管事項

委員

保育所等および放課後児童クラブの性被害防止対策支援事業について、パーティションや固定型カメラなど、性被害防止対策に必要とされる設備等の購入経費を支援しようとするものですが、これらはどのような場面での使用を想定しているのですか。

子ども未来部

パーティションやカーテンなどについて

では、着替えやおむつ交換等の場面での使用を、固定型カメラについては、保護者から性被害が疑われるとして問い合わせがあった際に、事実確認をする場面での使用を想定しているものです。



教育産業分科会

観光文化スポーツ部、産業振興部、教育委員会、農業委員会の所管事項

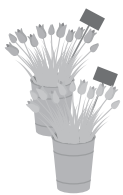
委員

地方卸売市場再整備事業における第1期工事となる新花き棟の整備について、設計と建設工事を分離した従来方式により実施することとしています。コスト削減効果が期待できるDB方式（設計・施工一括発注方式）により実施する選択肢はなかったのですか。

産業振興部

DB方式について

では、コスト削減効果が期待できる一方で、事業者の選定手続きに一定の期間を要するという課題があるため、現施設の老朽化に伴う修繕費の掛かり増しや、近年の建設コストの上昇に鑑み、工期短縮によるコスト削減効果が高く、地元企業への発注による経済効果も期待できる従来方式を選択したものです。



建設分科会

環境部、建設部、都市整備部、上下水道局の所管事項

委員

河川改修事業について、経年劣化により腐食した古川の矢板護岸を改修するものですが、今回の改修箇所以外に護岸整備が必要な箇所はなかったのですか。また、他の河川で同時に矢板護岸が施工された箇所について、改修の必要はないのですか。

建設部

令和6年2月に、市道から土砂の流出があった箇所周辺を調査したところ、約130メートルにわたって矢板護岸の腐食が確認されましたが、そのうち河川の増水時等に市道崩落の恐れがあり、早急な護岸整備が必要と判断した60メートルを今回の改修箇所としています。また、他の河川においても矢板護岸の施工箇所はあると認識していますが、市内全ての状況については把握していないため、今後、パトロール等により状況等を確認しながら、適宜改修を行っていきたいと考えています。

9月定例会のお知らせ(予定)

◆日程

9月2日	本会議
11日～13日	本会議「一般質問」
17日	常任委員会
18日～20日	常任委員会・分科会
25日	常任委員会
27日	本会議・常任委員会
30日～10月2日	分科会
10月4日	常任委員会
8日	本会議

◆一般質問予定者

細川信二、見上万里子（秋水会）
藤枝隆博、工藤新一（フロンティア秋田）
工藤潤平、安井正浩（自民党）
佐藤佳人（公明党秋田市議会）
藤井翼（そうせいと維新）
奈良順子（日本共産党秋田市議会議員団）

次回のあきた市議会だよりは令和6年11月15日発行予定です。



※秋田市議会では、本会議、常任委員会・分科会などの傍聴ができます。日程および一般質問予定者は変更になることがありますので、議会事務局までご確認ください。

